

# 厚木連台 戸陵会だより

**AGG ネットのない 300ヤードの練習場 AGG**  
**厚木ゴルフガーデン**  
 代表取締役 藤原玲子(高30) 厚木市中伏野1185  
 ☎046-241-2882  
<http://www.golf-garden.com>

戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連台戸陵会) ●発行責任=内田徳孝 ●編集責任=大塚憲二 ●厚木市中町4-12-10 ☎046-223-3458



## 22年度同窓会総会開催される “声楽家・森口賢二氏(高44回)の歌ごころに酔いしれる”

平成22年6月27日、厚木商工会議所において平成22年度通常総会が開催されました。あいさつに立った近藤俊二同窓会長(高6)からは、昨年、大成功に終わった第4回青春かながわ校歌祭、関西戸陵会の設立など、各方面での同窓会の交流の状況が報告されました。次に来賓として学校長の荒木高司氏が壇上に立ち、質実剛健の伝統を守り、文武両道に励む在校生の様子などのお話をいただきました。

案件の審議に先立ち、議長団として大貫隆広氏(高9)、城所文洋氏(高11)が選出され、「平成21年度事業報告」を事務局次長・石塚修氏(高28)が、「決算報告」を事務局会計・足立原泰(高12)が報告し、佐藤裕洋氏(高10)からの監査報告の後、各案件とも承認されました。

講演会は、「日本の歌、イタリアの歌、オペラ・アリア」と題して、声



楽家(バリトン)森口賢二氏(高44)にお願いしました。照明を落とした薄明かりの会場で、最初にアカペラで披露した「校歌」は、荘厳さを帯びた別次元の曲として、出席者全員が大感動でした。イタリアと日本の歌を2回の留学を経て、鍛え上げられた歌唱力で歌い上げ、すっかり聞き惚れた45分間でした。最後は出席者全員で恒例の記念撮影を行い、午後4時からは、会場を移して懇親会が開催されました。多忙なスケジュールの中、衆議院議員の後藤祐(高39)氏も駆け付け、和気藹々の雰囲気の中、最後は、校歌斉唱でお開きとなりました。

**●森口賢二(高44回) プロフィール**  
 声楽家(バリトン)  
 国立音楽大学声楽科卒。同大学院声楽専攻(オペラコース)終了。第35,36回日伊声楽コンソルト入選。第68回日本音楽コンクール声楽部門(オペラ・アリア)入選。2001年ローマ留学。2004年藤原歌劇団入団。2006年、「フォルスタッフ」(レナード・ブルゾン主演)でフォードを歌う。同年、文化庁の新進芸術家海外留学制度に拠り、再びイタリアへ留学。2007年、36回ローマ・フェスティバル2007国際コンクール第1位入賞。2008年帰国。「ラ・ボエーム」「天主物語」「カルメン」など各地ホールで大活躍。既にオペラのレパートリーは19演目、25役を誇り、コンサートのソリストを多数務めている。



紙芝居「飯山の七不思議」を自作自演の小島富司さん(高18回)

総会は7月25日(日)飯山元湯旅館に於て開催されました。参加者は54名。当日は近藤俊二同窓会長をはじめ来賓には海老名戸陵会長長杉崎秀夫さん、愛川戸陵会長八木陽一さん、伊勢原戸陵会長長花田克雄さんの他学校側から佐々木副校長、大沢教頭各氏の臨席を頂きました。

城所副会長の開会の辞に続き、当日は体調不良で出席叶わなかった内田徳孝会長にかわり花上肇副会長が挨拶を代行されました。

難波浩副会長が議長に選任され議事審議に入り、21年度活動報告及び決算報告とも慎重審議され満場一致で可決されました。又、22年度活動計画案及び収支



平成22年度厚木連台戸陵会通常総会

予算案の審議も満場一致で可決承認されました。懇親会は、近藤俊二同窓会長の挨拶で始まりました。冒頭に予期せぬパフォーマンズの披露があり参加者は皆驚かされた。地元小鮎地区の小島富司さん(高18回)による自作自演の紙芝居「飯山の七不思議」がそれである。「弘法の米とぎ水」「白山池」「片葉の松」「恩曾川の片葉の草」「亀甲の松」「久保の万年橋」「千ヶ沢の貝殻石」これらの伝説、民話を小島さんが絵を描き、自ら台詞を作り、手作り衣装で、やったのである。余興とはいえず、その出来栄に皆、驚嘆されました。

◆造園・設計・施工・全般  
 ◆庭や樹木に関するご相談  
 等お気軽にどうぞ。

**(株)大木ガーデン**  
 代表取締役 大木幹雄 (高22回)

〒243-0036 厚木市長谷1552  
 ☎046-247-1568 Fax 046247-9580

**株式会社 神奈川県都市開発研究所**  
 (社団法人 日本不動産鑑定協会会員)

代表取締役 不動産鑑定士 **三平 治憲** (高24回)

〒243-0017 神奈川県厚木市栄町1丁目16-12 あいおい損保厚木ビル5F  
 ☎046-222-8807 FAX.046-222-8809

**サンパートナーズグループ**

●税理士法人 サンパートナーズオフィス  
 税理士 新川 勉・平野 社司  
 ☎ 046-226-9980  
 FAX.046-227-6868  
<http://www.sunpart.jp/>

●サンパートナーズオフィス  
 社会保険労務士事務所  
 社会保険労務士 森田 静江  
 ☎ 046-226-5677

●サンパートナーズオフィス  
 行政書士事務所  
 行政書士 平野 社司  
 ☎ 046-226-9980

●有限会社 サン不動産  
 代表取締役 新川 正春  
 ☎ 046-226-7017

〒243-0014 厚木市旭町1-22-8 FMビル1F

# 学校だより

平成22年度(本年7月迄)の部活の活躍が認められ校内表彰を受けた部の紹介と壮行会が7月23日に行われた。

- 以下受賞者、大会名、成績を紹介しておきます。
- 1、弓道部：神奈川県高校総体弓道競技及全国高校総体県予選男子個人の部準優勝(全国大会)
  - 2、山岳部：神奈川県高校総体兼関東東高校登山大会県予選男子の部優秀校
  - 加藤大祐3年/松永康生3年/小林祐彌2年/林 悠介1年
  - 3、女子ソフトテニス部：県ソフトテニス選手権大会第5位 菊地加那子2年/増山智子2年
  - 4、体操部：県体操競技高校生大会
  - 女子総合3位/金子萌子2年
  - 女子種目別第3位跳馬/第2位段違い平行棒/第2位平均台/金子萌子2年
  - 5、柔道部：神奈川県高校総体女子団体の部第5位/長嶋 愛3年
  - 6、囲碁将棋部：全国高校囲碁選手権大会神奈川大会 団体の部第2位/小林優介3年 矢田和樹3年/内田賢吾2年 個人の部第7位/小林優介3年
  - 7、第21回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
  - 佳作特別賞/大野 純2年
  - 佳作/狩元英世2年
  - 8、吹奏楽部：第7回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会
  - 優秀賞/大谷綾花3年
  - 第11回関東東選抜吹奏楽大会金賞 齋藤和也2年/秦野健太2年
  - なお8月初頭から始まる高文連主催・全国総合文化祭宮崎大会には本校から、文芸部と新聞部が出場しています。

## 人形浄瑠璃文楽座の鶴澤清友さん(高18) ついにトップ・プカラスの三味線弾きに…

鶴澤清友(人形浄瑠璃文楽座・三味線 本名・大澤弘宜 昭和46年二代鶴澤道八に入門、鶴澤清友を名のる。昭和47年5月国立劇場で初舞台。昭和57年現、鶴澤清友門下となる。《受賞歴》昭和54年度文楽協会賞、昭和59年度同協会奨励賞(野崎村)。平成7年第14回国立劇場文楽奨励賞。

「還暦すぎても日常が受験勉強中の様であり舞台に立つ度に試験を受けている様に感じている。鶴澤清友さんは淡々と語るのだが、意外な言葉に思えた。文楽という伝統芸能の世界に身を置

くこと39年と言えは余裕紳紳の大ベテランに思えたからだ。宝生流能楽師、近藤乾之助という人の文楽観に触れ、彼の本意はすぐ解けた。『大夫の語りは、対立する人達、男女、老人各々に聞こえ立体的だ。繋がっている様で繋がっていない。大夫、三味線、人形は完全に離れている。互いが真剣勝負の世界だ。そこに三味線の響きが心を繋ぎ、又離れ水面下で一つになっていることに驚き、感動するのである』という。まさに時間芸術を創りあげる一翼を担っている人の言葉だったのである。

鶴澤さんが文楽の世界に入るきっかけを作った同窓の伊澤圭一さん(高6)は言う。超真面目な彼が長い間、心身共にひどく苦勞してきているのをよく知っている。努力の甲斐あつて今では文楽の大夫天王の一人と言われる豊竹嶋大夫の女房役、相三味線に抜擢されるまでになり本当にトップクラスの三味線弾きになった。赫灼としている彼を見ると誇りに思えるし本当にうれいしと目を細める。伊澤さんにはもうひとつ



●以下受賞者、大会名、成績を紹介しておきます。

- 4、体操部：県体操競技高校生大会
- 女子総合3位/金子萌子2年
- 女子種目別第3位跳馬/第2位段違い平行棒/第2位平均台/金子萌子2年
- 5、柔道部：神奈川県高校総体女子団体の部第5位/長嶋 愛3年
- 6、囲碁将棋部：全国高校囲碁選手権大会神奈川大会
- 団体の部第2位/小林優介3年 矢田和樹3年/内田賢吾2年 個人の部第7位/小林優介3年
- 7、第21回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
- 佳作特別賞/大野 純2年
- 佳作/狩元英世2年
- 8、吹奏楽部：第7回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会
- 優秀賞/大谷綾花3年
- 第11回関東東選抜吹奏楽大会金賞 齋藤和也2年/秦野健太2年
- なお8月初頭から始まる高文連主催・全国総合文化祭宮崎大会には本校から、文芸部と新聞部が出場しています。

- ★10月地方公演 夜の部/曾根崎心中、天満屋の段に出演
- 相模原市民会館 18時開演
- 10月2日(土)
- 府中の森芸術劇場 18時開演
- 10月3日(日)
- 千葉文化センター 18時開演
- 10月8日(金)
- 神奈川県立青少年センター 18時開演
- 10月11日(月)

## 演劇熱中少年ー今、NHKのアナウンサーで輝く



【「厚高OB」と言える喜び】

小田切 千(高40回)

毎週火曜夜8時、総合テレビで生放送の「NHK歌謡コンサート」の司会進行がメイン業務です。歌謡界の大御所を隣に話を引き出し、3000人のお客様の前で時間を内に番組を取めるのが仕事で、毎週緊張の連続です。ただ仕事はステージだけではありません。テレビやラジオのニュースリードや生中継の現場でリポートをする事もあります。3〜5時間の特集番組の司会進行や、映像番組のナレーションなど様々です。

この仕事を通じて、厚高OBとお会いする機会が多いのは意外でした。私は厚高時代、演劇部に所属していましたが、その厚高演劇部の礎を築いたのが劇団「扉座」の主宰者として活躍されている横内謙介さんです。高校時代はよく横内さんのお芝居を下北沢に見に行き、全く面識のなかった横内さんの舞台上に勝手に憧れていました。今から4年ほど前、高校演劇を題材にした5時間の生番組の司会をする事になり、そのゲストが横内さんだったのです。厚高高校という繋がりから様々な話をさせていただき、私にとっては至福の一時でした。

厚高OBで今一番話題なのが、2008年の紅白歌合戦で初出場を果たした「いきものがかり」でしょう。現在の活躍ぶりは周知の通り。私は、紅白歌合戦のラジオ実況という役回りだったため、彼らに直接取材をしたわけですが、私が厚高であることを告げると、魅了されました。これは自分自身が自らを表現する機会をあえて捨ててきていることに気づいたからに他ならない。自分の「視点」が試されると同時に学ぶことも増えていく。これが楽しいのである。

今回の写真展は、阿夫利の高嶺を目指してきた人生を振り返り、山裾に広がる日向薬師をめぐる人々の暮らしを撮ったものです。三百五十年ぶりに茅葺の本堂が改築されたのを機会に、写真展を開催することにしました。会場は本厚木駅の至近距離です。ぜひお越しください。

## 技を極めるへの道の道

柔道はわが青春 嶋村勘一(高6回)

《同窓生では最高位の柔道八段》

昭和26年高校に入学9月柔道部に入部、これが柔道の初の出会いだ。

顧問は「カッチャン」と山崎勝治先生、部員は10数名、道場は師範席付77畳敷、床にはスプリング入りの立派なものだったが半分は拳闘部に借りている形のものだった。練習は3年生との実力差が大きく毎日受身の連続だった。当時の3年生は、旧制中学、新制高校の計6年在校者なので当然のことだ。

同年11月24日第1回神奈川県高等学校柔道選手権大会で厚高が団体優勝(高4卒 難波和彦、加藤 憲、青根茂明、戸田輝男、田辺正久、田辺 稔)この優勝は柔道部だけでなく、学校全体が大変な盛り上がりを見せ、特に柔道部は、道場全体の使用を認められ、また、部員が一気に増加した

内謙介さんです。高校時代はよく横内さんのお芝居を下北沢に見に行き、全く面識のなかった横内さんの舞台上に勝手に憧れていました。今から4年ほど前、高校演劇を題材にした5時間の生番組の司会をする事になり、そのゲストが横内さんだったのです。厚高高校という繋がりから様々な話をさせていただき、私にとっては至福の一時でした。

厚高OBで今一番話題なのが、2008年の紅白歌合戦で初出場を果たした「いきものがかり」でしょう。現在の活躍ぶりは周知の通り。私は、紅白歌合戦のラジオ実況という役回りだったため、彼らに直接取材をしたわけですが、私が厚高であることを告げると、魅了されました。これは自分自身が自らを表現する機会をあえて捨ててきていることに気づいたからに他ならない。自分の「視点」が試されると同時に学ぶことも増えていく。これが楽しいのである。

今回の写真展は、阿夫利の高嶺を目指してきた人生を振り返り、山裾に広がる日向薬師をめぐる人々の暮らしを撮ったものです。三百五十年ぶりに茅葺の本堂が改築されたのを機会に、写真展を開催することにしました。会場は本厚木駅の至近距離です。ぜひお越しください。

**つるくぼ耳鼻咽喉科**

日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長  
医学博士 鶴窪一行(高26回)

診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22  
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

「大山・日向薬師 薬師の里」

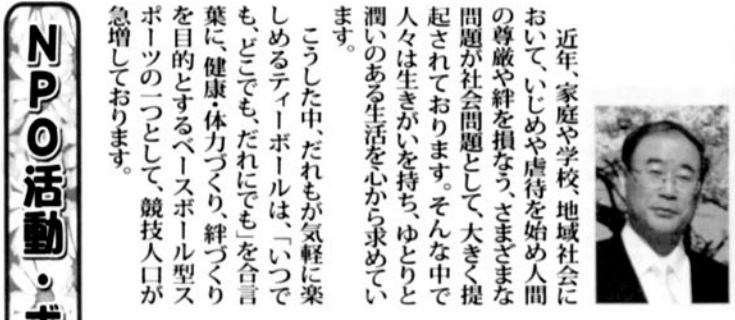
写真家の道へ 横井 博(高15)

モノクロ写真展 10月5〜11日  
(於・厚木市市民ギャラリー サティ7F)

人間万事塞翁が馬、ひよんなことから。写真撮影の世界にのめりこんでいる。このデジカメ全盛時代にフィルム写真で暗室にこもり手づくりするモノクロ写真に魅了されました。これは自分自身が自らを表現する機会をあえて捨ててきていることに気づいたからに他ならない。自分の「視点」が試されると同時に学ぶことも増えていく。これが楽しいのである。

●横井博プロフィール  
慶応大学経済学部卒業。神奈川県勤務。(企画、財政、秘書他)西部職業技術学校長など歴任。退職後、早大大学院アジア太平洋研究所に進学。その後日本リアリズム写真集団・現代写真研究所に入り本格的に写真家の道へ。現在、協同総合研究所理事も勤め、労働者協同組合法案の実現を目指して奮闘中である。

『つなぐ伝統の輝』



『つなぐ伝統の輝』

『体操ニッポン』『月面宙返り』に憧れて厚木中学校、厚木高校、日本体育大学と体操一筋、熱血体育教師を目指した父の言いつけ、現実？厳格だった父の言いつけ通り家業である精肉店を兄(幸一、高29回)と共に継ぐことになりました。以来30年おかげさまで商売はそれなりに順調で現在は豚肉の田口として『厚木名物とん漬』を販売中、また『シロコロホルモン』『ブーム』に便乗して開業した焼肉の田口も恩名と飯山2店舗で営業しています。

近年、家庭や学校、地域社会において、いじめや虐待を始め人間の尊厳や絆を損なう、さまざまな問題が社会問題として、大きく提起されております。そんな中で人々は生きがいを持ち、ゆとりと潤いのある生活を心から求めています。

こうした中、だれもが気軽に楽しめるティールは、「いつでもどこでも、だれにでも」を合言葉に、健康・体力づくり、絆づくりを目的とするベースボール型スポーツの二つとして、競技人口が急増しております。

『北朝鮮難民救済基金』について 山下知津子 (高20回)

本年度上半期ナンバーワンの呼び声も高い映画『クロッシング』(韓国)が、まだご覧になっていない方にはぜひとも観ていただきたい。聞かされた国家と言われる北朝鮮の、地方の町に生きる庶民の暮らしが非常にリアルに描かれている。そして、その国を逃れて難民とならざるをえなかった人々、いわゆる『脱北者』の苦難と悲愴が、ドキュメンタリーのような迫真の映像で語られる。

『新しいすけあいの社会をめざして』NPOをいっしょに続ける 又木京子 (高20回)

今、日本の社会に、貧困問題が生まれていきます。高度経済成長を経た日本では、生活のゆとりや豊かさを手にしたはずなのに、社会全体でたすけあおうとして、多くの社会保障制度を組み入れたはずなのに、何故か？

『生活支援、また保護、難民認定をめざして活動し、子どもたちについては教育里親制度を設け、シェルターにおいて保護、養育している。』

今年には日本による韓国併合から百年、日本の植民地支配は朝鮮半島の南北分断の遠因ともなっている。島の中の活動している仲間の中には、かつて一九五九年から行われた北朝鮮への帰還事業の際、親友だった在日の同級生に『帰国』を勧め、拍手で北朝鮮へ送り出されたという痛切な体験を持つ者もいる。

『生活支援、また保護、難民認定をめざして活動し、子どもたちについては教育里親制度を設け、シェルターにおいて保護、養育している。』

多くの方に脱北者への関心を持っていただき、その存在について考えていただけたらと願う。 ●連絡先 〒113-0024 東京都文京区西片 2-2-8 西片ハイテルA101 NPO法人・北朝鮮難民救済基金事務局 ☎FAX 03-3815-8127 E-mail: nkkkr@hotmail.com

40th Thanks! mister Donut もっといいこと。携帯メール会員大募集 会員登録は、ミスド携帯サイト (i-misdo)から http://www.i-misdo.com パソコン http://www.misterdonut.jp

内科・循環器内科・心療内科 厚木ハートケアクリニック http://www.atsugi-heartcare.com 院長 循環器専門医 伴野富佐子 (旧姓・難波) (高37回) 〒243-0203 厚木市下荻野1393-1 〒243-0203 厚木市下荻野1476-1 ソルローマ本厚木1F TEL 046-243-5533 FAX 046-243-5503

樹木剪定・刈草等 受け入れ (一般廃棄物処分場) 厚木グリーン リサイクルセンター ※樹木粉碎チップ加工・堆肥製造販売 株式会社 ヒロコーポレーション 厚木市三田3082-1 TEL 046-242-5420 (株)内田造園 代表取締役 内田徳孝 (高10回) 厚木市下荻野483 TEL 046-241-1646

# 古希を迎えて意気盛ん! 元校長先生はいま...

21世紀を生きる子供達へ、後輩達へ「ひとこと」

## 活躍する同窓生(教育界編)



プロフィール  
足立原 威(高10回)

横浜国立大学文学部卒業  
着任学校名 厚木市立依知小学校  
最後の学校名 愛川町立愛川東中  
学校

公職 愛川町教育委員  
現在の役職 教育委員長

「戸室の丘辺旭日」と共に歌った同期生、約二五〇名も戸陵会などでお会いすると白髪が多くなり五十歳の歳月の経過を感じる昨今です。教師の道に奉職し、教員としての便りに我が青春時代を振り返り、同窓会に招かれて酌み交わす杯に酔い、教

え子たちと汗を流した部活動や学校行事に当時を偲ぶ教師でなければ味わうことのできない喜びを感じている。健康づくりのため、週二回のテニスやそして登山・旅行、冬には学生時代から続けているスキーに余暇を楽しんでいる。

みなさんはこの世に生を受け、家族や地域の方々に見守られて現在の自分が在ることを再認識し、互いに支えあう社会の構築に努めてほしい。

「鉄は熱いうち打て」と云う諺があるが学問を究めることは容易なことではない、若さあふれる時期こそ実現可能な、高遠な理想をかかげつつ現在の自分に最善を尽くして欲しい。健康でなければ何事も挑戦することは難しい。強健な身体と強い精神を養うため、運動やスポーツに親しみ多くの仲間をつくり、伝統ある質実剛健と気概を持って文武両面で活躍され



プロフィール  
霜島俊彦(高8回)

横浜国立大学文学部昭和31年卒。着任校は厚木市立小針小学校からスタート、市立南毛利小学校で退職。その後、横浜市立校二校、神奈川県知事部局、県教育委員会、県警本部少年課、さらに厚木市教育委員会に勤務。その後、東京工業大学非常勤講師、横浜家庭裁判所調停委員などを勤める。

私は退職後、社交ダンス界にとび込

厚高の名を全国に知らしめて欲しい。



プロフィール  
新藤公男(高7回)

昭和34年3月日本体育大学体育学部卒業

34年5月厚木市立荻野中学校勤務。その後、玉川中、睦合中、林中、厚木市教委、睦合東中、玉川中、依知中、厚木中を経て平成9年3月定年退職



プロフィール  
中野幸夫(高9回)

法曹界に憧れて中央大学に入学。しかし、文学に興味が増え、英米文学に、そして進路も教職にシフトチェンジ。英語の教師が、かわい

キラキラした眼の児童たちに大きな魅力を感じ、「小学校の子どもたちを育てる。これぞ天職」と、またもや最後のシフトチェンジして35年間、着任、最後の学校とも厚木市立清水小学校



プロフィール  
花上貞夫(高7回)

昭和34年横浜国立大学文学部卒業。厚木市立三田小学校勤務。昭和63年厚木市立厚木中学校長、以後厚木市教育研究所長を経て平成9年厚木市立相川小学校長を最後に定年退職。この間厚木市小学校長会長、厚木愛甲地区小学校長会長等歴任。退



プロフィール  
長谷川美雪(高9回)

昭和37年 横浜国立大学卒業  
昭和37年 厚木市立依知小学校教諭を皮切りに横浜国大附属鎌倉小学校教諭などを経て昭和51年 神奈川県愛甲教育事務所主査兼指導主事  
昭和58年 厚木市教育委員会学校教育部指導室主任兼指導主事  
平成8年 厚木市立厚木小学校校長  
平成11年 厚木市教育委員会教育長(2期8年)  
平成19年 財団法人厚木市体育協会会長  
平成20年 地方教育功労者表彰(文



プロフィール  
平川嘉則(高8回)

横浜国立大学文学部卒業。新任校、厚木市立依知小学校、最後の学校、厚木市立妻田小学校、その他の職歴・県教委指導主事・愛甲教育事務所長・愛川町教育長・神奈川県町村教育長会長・全国町村教育長会副会



プロフィール  
朝生 旭(高9回)

五川・森の里戸陵会  
玉川・森の里戸陵会  
国学院大学文学部文学科卒業  
最終勤務校・厚木市立森の里小学校

長等を歴任、H15文部科学大臣賞  
H20叙勲「瑞寶雙光章」。

「これを信じることを怠るな」常に、自分を信じることに努めようという事です。そのためには「悩む」ことから逃げない事です。「悩み」に正からぶつかっていく事です。くよくよ悩むのは「悩み」から逃げようとしているからです。積極的に悩むことです。しかし、悶々としては活路は見いだせません。児童文学には優れた作品が沢山あります。多様な生き方考え方を通して多くの示唆を与えてくれます。「悩む」力が「これを信じる力」になるのです。

皆さんの大活躍を期待しています。

退職後は、山里での小さな農業生活者です。晴れの日を晴れを愛し、雨の日を雨を愛するという生活の中で野猿との知恵くらべの日々の生活です。くり返しの毎日の中で、保護司としての手伝いをしています。

「語り継ぎたい、聴く」ということ大切さ。耳を傾けてもくれないとか聴く耳をもつてくれないという言葉が言われる現代です。老齢ということで聴力の衰えとは別に、日々の生活の

退職後は、山里での小さな農業生活者です。晴れの日を晴れを愛し、雨の日を雨を愛するという生活の中で野猿との知恵くらべの日々の生活です。くり返しの毎日の中で、保護司としての手伝いをしています。

いまこそ物より人を尊重する時です。人と人との心の結びつきを大事にする社会の実現が先決です。どうぞ友達を大切にすることを第一優先にしてください。

中々「聴く」ということの大切さを感じています。人それぞれに生活もあり又人生経験も異なります。だからこそ想いも悩みもあるわけです。そこには、耳を傾けあうということの大切さがあります。

**妻田ナンバ歯科医院**  
院長 歯学博士 難波勝文 (高30回)  
診療時間/午前9時~12時30分  
午後2時~7時 (土のみ5時30分)  
休診日/日・祝祭日  
厚木市妻田北1-2-3 妻田郵便局2階  
☎ 0120-78-4180  
http://www.namba\_dent.com

望みが沸き、趣きに親しむ、  
かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

**元湯旅館**  
代表取締役 石川範義 (高10回)  
神奈川厚木市飯山4916  
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975  
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL http://www.motoyu.co.jp/

厚木市優良施工店賞受賞  
神奈川県優良水道設備店賞受賞  
神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

**住まいの快適**  
**リフォーム増改築**

株式会社 **小林リビング**  
代表取締役社長 小林知弥 (高8回)  
厚木市山際570 (R129山際交差点隣) ☎046-245-3261